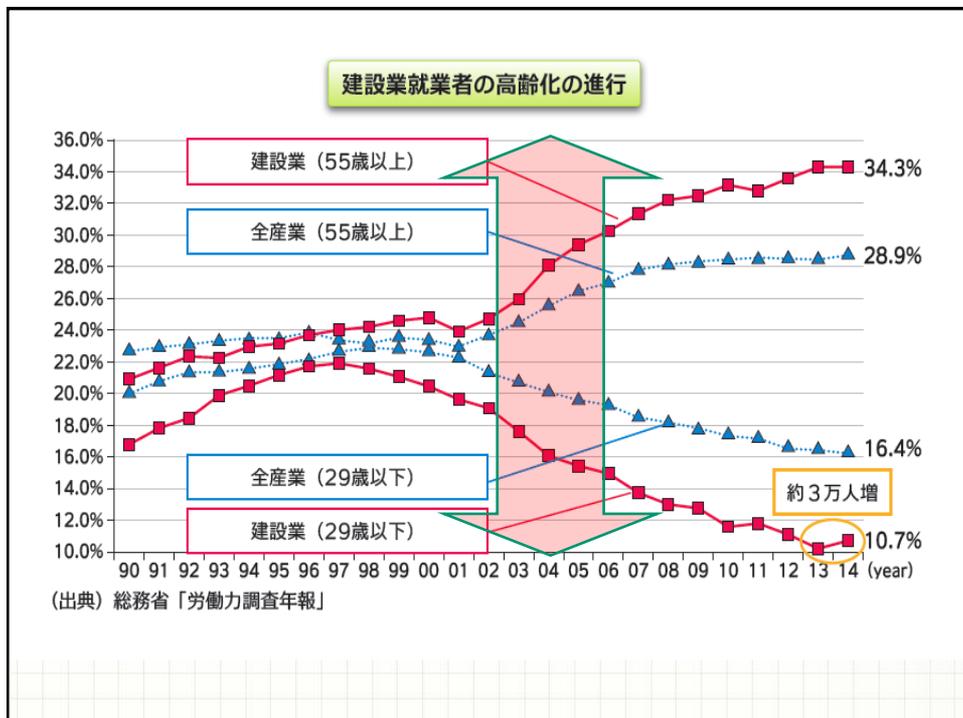


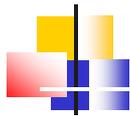
道北若力会  
建設マネジメント研究委員会意見交換会資料

## 話題提供「担い手の確保・定着対策」

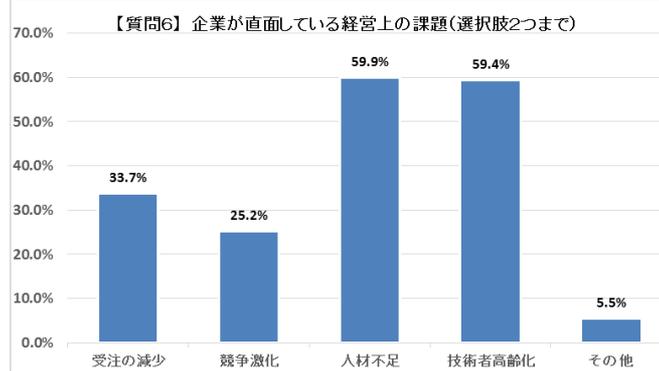
2018年6月12日

株式会社北海道建設新聞社  
荒木 正芳

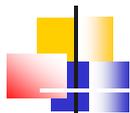




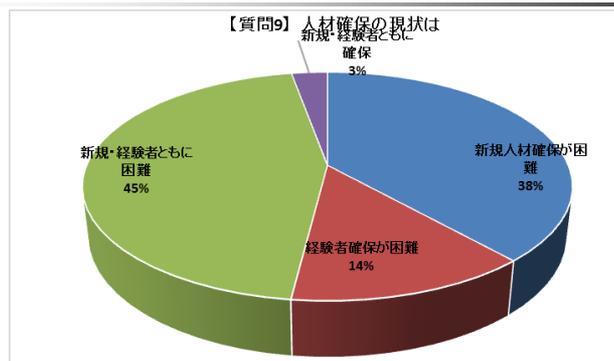
## 北海道測量設計業協会の会員アンケート調査①



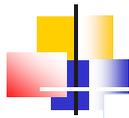
経営上の課題は、2016年度の調査で「受注の減少」がトップだったが、2017年度調査では「人材不足」と「技術者高齢化」が一気に上昇した。



## 北海道測量設計業協会の会員アンケート調査②

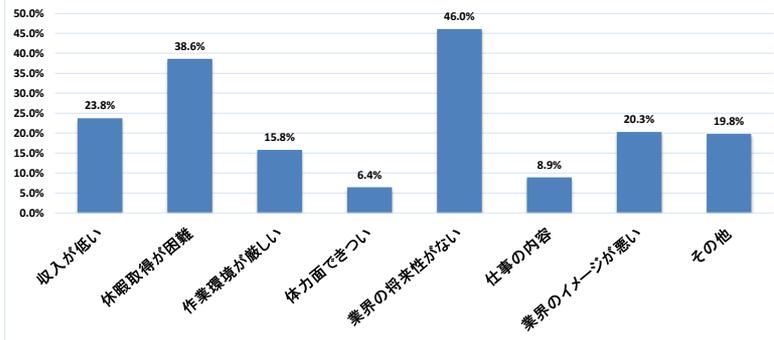


人材確保の現状は「新規・経営者ともに困難」が最も多く、次いで「新規の人材確保が困難」、「経験者確保が困難」の順となった。

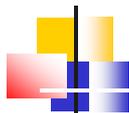


## 北海道測量設計業協会の会員アンケート調査③

【質問8】若手技術者確保が困難な理由は(選択肢は2つまで)



困難な理由は「業界の将来性がない」がダントツ、次いで「休暇取得が困難」、「収入が低い」「業界のイメージが悪い」「作業環境が厳しい」など。



## 十勝建設産業の未来を考える会(1)

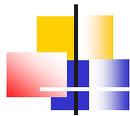
### ■目的

民間と官公庁が個々に行っている人材確保の活動を、教育機関である学校を巻き込み、産・官・学が連携して、十勝の建設産業の担い手を確保する。平成26年9月18日に発足。

### ■構成員

- ・北海道十勝総合振興局(帯広建設管理部・産業振興部)
- ・帯広建設業協会(帯広二建会)
- ・十勝測量設計協会
- ・北海道立帯広工業高校(就職担当者)
- ・北海道立帯広農業高校(就職担当者)





## 日胆地区これからの建設技術者を育てる会(2)

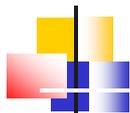
---

### ■概要

建設業振興基金の「地域連携ネットワーク構築支援事業」を活用して、事業管理者の室蘭建設業協会が平成28年4月～平成30年3月までの2年間実施する。

### ■事業内容

- ①官民連携によるインターンシップの実施
- ②土木への理解を深める効果的な現場見学会の実施
- ③効果的な広報活動
- ④地域内の関係機関と連携した技術者の担い手確保・育成のための取り組み



## 日胆地区これからの建設技術者を育てる会(3)

---

### ■官民連携インターンシップ

- ・平成28年8月22～26日 苫小牧高専 橋梁点検、ドローン(小型無人機)シミュレーター操作、3Dレーザー測量体験など。
- ・平成28年9月5～7日 苫小牧工業高校 座学(建設産業の仕事と役割)、ドローン飛行実習など。

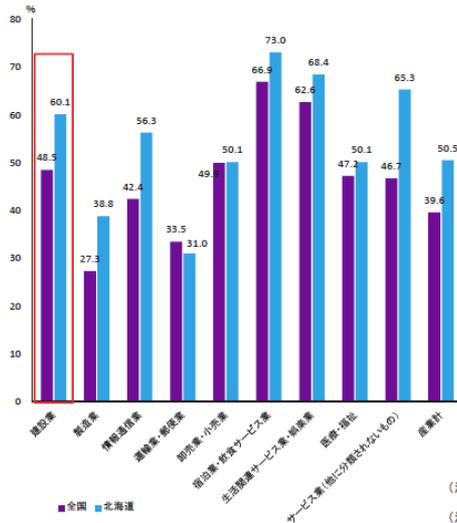
### ■現場見学会

- ・保護者対象＝平成28年10月18日、苫小牧高専・苫小牧工業高校の保護者7人が参加。
- ・生徒対象＝平成28年9～10月、工業高校、専門学校、大学から参加。豊郷トンネルなどを見学。

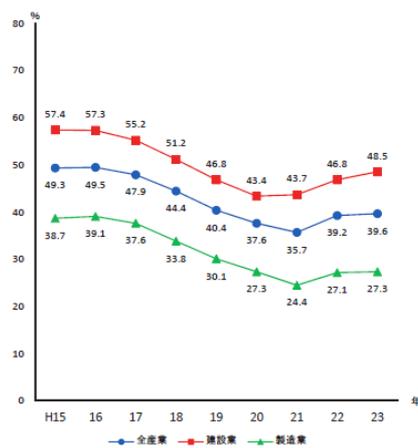
## 新規高校卒業就職者の離職状況

・新規高校卒業就職者のうち、建設業に就職した者の3年後の離職状況は、平成23年3月の卒業生の場合、全国で 48.5%、北海道では60.1%となっている。

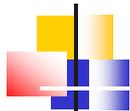
【平成23年3月新規卒業者の産業別離職率(全国と北海道)】



【全産業・建設業・製造業の離職率の推移(全国)】



(注1) 『職業安定業務統計』及び『新規学則者の離職状況』(厚生労働省)により、北海道開発局建設産業課において作成  
 (注2) 離職率の推移は各年3月の卒業者のデータである



## 人材確保・定着の課題

1. 3年以内の離職をどう食い止めるか。
2. 新3K（給料、休暇、勤務時間）対策
3. 普通高校の新規学卒者の技術者教育。
4. 女性技術者の進出促進と活用。
5. 育てる側の意識改革をどう進めていくか。